

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成27年11月5日(2015.11.5)

【公開番号】特開2014-135662(P2014-135662A)

【公開日】平成26年7月24日(2014.7.24)

【年通号数】公開・登録公報2014-039

【出願番号】特願2013-3141(P2013-3141)

【国際特許分類】

H 0 4 L 12/701 (2013.01)

【F I】

H 0 4 L 12/56 1 0 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成27年9月10日(2015.9.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

コンピュータに、

データに関する属性と前記属性を含む通信データの転送先情報とを対応付けた第1テーブルと、データに関する属性と前記属性を含む通信データの転送先情報とを含む通知データの転送先情報である第2テーブルとを記憶し、

通信データを受信したときに、前記通信データに含まれる属性に対応付けた転送先情報を前記第1テーブルから抽出し、前記通信データの転送先情報を抽出した前記転送先情報に更新し、前記通信データの転送元情報を自装置の情報に更新して転送し、

第1の通知データを受信したときに、前記第1の通知データに基づいて前記第1テーブルを更新し、前記第1の通知データに含まれる送信先情報を前記第2テーブルに記憶した前記第1の通知データの転送先情報に更新し、前記第1の通知データに含まれる送信元情報を自装置の情報に更新して転送する、

処理を実行することを特徴とする転送プログラム。

【請求項2】

請求項1において、

前記第1の通知データの受信時を基準にした所定の時間内に、前記第1の通知データに含まれる属性を含む通信データを受信しない場合、前記第1の通知データに含まれる属性を含む通信データの転送経路に対応する、当該属性と通信データの転送先とが対応付けられた対応情報を、前記転送経路に設置された転送装置に送信する要求を、前記通信データを転送する複数の転送装置を制御する制御装置に行う

処理をコンピュータに実行させることを特徴とする転送プログラム。

【請求項3】

請求項1において、

第2の属性を含む移動開始通知データの受信に応じて、受信した前記第2の属性を含む通信データを記憶装置に蓄積し、

前記蓄積した通信データの転送先を含む転送通知データの受信に応じて、前記記憶装置が蓄積する通信データを前記転送通知データに含まれる転送先の装置に転送する

処理をコンピュータに実行させることを特徴とする転送プログラム。

【請求項4】

請求項 1 において、

前記第 1 の通知データに含まれる属性に対応する転送先情報を前記第 1 テーブルから取得できた場合、当該属性に対応する前記転送先情報を、前記第 1 の通知データに含まれる転送元情報に変更し、

前記第 1 の通知データに含まれる属性に対応する転送先情報を前記第 1 テーブルから取得できない場合、前記第 1 の通知データに含まれる属性を前記第 1 テーブルに記憶し、さらに、当該属性と対応付けて、当該第 1 の通知データに含まれる転送元情報を前記転送先情報として前記第 1 テーブルに記憶する

処理をコンピュータに実行させることを特徴とする転送プログラム。

【請求項 5】

請求項 1 において、

第 2 の属性を含む移動開始通知データの受信に応じて、受信した前記第 2 の属性を含む通信データを記憶装置に蓄積し、

前記蓄積した通信データのうち前記第 1 の通知データに含まれる属性を含む通信データを前記第 1 の通知データの転送元の転送装置に転送する

処理をコンピュータに実行させることを特徴とする転送プログラム。

【請求項 6】

データに関する属性と前記属性を含む通信データの転送先情報とを対応付けた第 1 テーブルと、データに関する属性と前記属性を含む通信データの転送先情報とを含む通知データの転送先情報である第 2 テーブルとを記憶する記憶装置と、

通信データを受信したときに、前記通信データに含まれる属性に対応付けた転送先情報を前記第 1 テーブルから抽出し、前記通信データの転送先情報を抽出した前記転送先情報に更新し、前記通信データの転送元情報を自装置の情報に更新して転送し、

第 1 の通知データを受信したときに、前記第 1 の通知データに基づいて前記第 1 テーブルを更新し、前記第 1 の通知データに含まれる送信先情報を前記第 2 テーブルに記憶した前記第 1 の通知データの転送先情報に更新し、前記第 1 の通知データに含まれる送信元情報を自装置の情報に更新して転送する制御部とを有する

ことを特徴とする転送装置。

【請求項 7】

データに関する属性と前記属性を含む通信データの転送先情報とを対応付けた第 1 テーブルと、データに関する属性と前記属性を含む通信データの転送先情報とを含む通知データの転送先情報である第 2 テーブルとを記憶する転送装置で実行される転送方法であって

前記転送装置は、

通信データを受信したときに、前記通信データに含まれる属性に対応付けた転送先情報を前記第 1 テーブルから抽出し、前記通信データの転送先情報を抽出した前記転送先情報に更新し、前記通信データの転送元情報を自装置の情報に更新して転送し、

第 1 の通知データを受信したときに、前記第 1 の通知データに基づいて前記第 1 テーブルを更新し、前記第 1 の通知データに含まれる送信先情報を前記第 2 テーブルに記憶した前記第 1 の通知データの転送先情報に更新し、前記第 1 の通知データに含まれる送信元情報を自装置の情報に更新して転送する

ことを特徴とする転送方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0248

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0248】

ステップS163：第5の転送装置GW5の全体管理部121は、受信部125が受信した通信パケットを、記憶装置16に蓄積(記憶とも呼ぶ)する。